

今年は例年より梅雨入りが遅く、又気温も低めです。
体調を崩しがちになりますのでお気をつけ下さい。



有限会社美栗陸送 代表取締役 栗本佳孝



6月17日に一般財団法人日本自動車査定協会の小型査定士技能検定があります。私は以前、大型ディーラーで営業マンをしていましたので大型査定士の資格は持っていましたが、小型査定士は持っていませんでした。今回小型査定士の資格をとるために査定士講習に参加してきました。

査定協会の講師の人たちは、実際に日々査定業務をしたりオークション会場で出品車両チェックをおこなっていると言う事だったので休憩時間に特別に、実際の体験談を聞かせていただきました。

オークション検査の裏話や、検査の評価点の特性など、とても興味深い話でした。中でも評価点の特性をうまく利用して車を入手する事で利益をより増やす方法などは、私でも実践できる内容で、とても楽しかったし、ぜひ実践してみようと思いました。

私は大型査定士と整備士の資格があるので、学科試験の3割が免除されるので、かなり有利に小型査定士の資格はとれそうです。

合格後には、実車を用いての実践講習があるそうなのでぜひ参加したいと思っています。

私の会社は、陸送業をメイン事業としていますが、6月1日より新規事業部門として「自動車販売」を始めました。

お取引先の方の自動車販売業の方の仲間入りをさせていただきましたのでこの場を借りてご挨拶させていただきます。

オークション会場で私を見かけられましたら気軽に声を掛けていただくと、とても嬉しいです。わだまだ分からない事だらけですが小さな失敗を繰り返しながら覚えていければいいと思っていますので、色々教えてくださいたいです。

又、お取引先の自動車販売業以外の方には、御社の従業員様に喜んでいただけるプランをご案内させていただきますので、よろしくお願いします。



今月のお勧め本紹介



これはビジネス本ではありませんがとてもメンタル面で参考になる1冊です。例えどんな状況に自分がなろうとも、決してあきらめない！「なんとかなる」家族や友人が支えてくれる、「あきらめること」これが最も罪なこと。今現在、自分が置かれている状況で「何が出来るか」を考える。前進する気持ちを後ろから押してくれる1冊です。

大きな困難を抱えている人、自分に自信が持てない人、
仕事をあきらめようとしている人、
自分の人生、悪いことばかり・・・という人
—そんな悩める すべての人に贈るエールです

「あきらめない」裏表紙より

お客様の立場で考え行動する 有限会社美栗陸送

岐阜県岐阜市細畑1-8-7 TEL: 058-213-6445 FAX: 058-213-6446

もうすぐ夏の観光シーズンが始まりますがそれと同時に渋滞のシーズンも始まります



◆ 渋滞はなぜ発生するのでしょうか？

渋滞は大きく分けると、容量以上に交通量が集中することで発生する「交通集中渋滞」、工事規制に伴い発生する「工事渋滞」、交通事故が引き金となり発生する「事故渋滞」の3つに分けられます。高速道路の全渋滞の約7割が交通集中渋滞といわれています。

この交通集中渋滞が最も起こりやすい場所が、上り坂や下り坂から上り坂に切り替わるポイントで5割以上を占めています。この場所では、なぜ渋滞が起こりやすいのでしょうか。坂道に差し掛かると自然にスピードが落ち、後続車との車間距離が詰まります。この時、後続車が車間距離を詰めていると、ブレーキを踏むこととなります。これが後方に連鎖していくことで渋滞が発生するのです。

◆ 渋滞ではここに注意しよう！

1. 裏道を使わない

裏道は車歩道の区分がない所が多く、歩行者や自転車が道路の中央に急に出て来たり、駐車車両の陰から歩行者や自転車が飛び出してくるなど、危険要因がたくさんあります。渋滞しているからといって、安易に裏道を通らないようにしましょう。

2. 渋滞の情報を積極的に収集しよう

渋滞に巻き込まれないよう運転前にしっかり情報を収集しておきましょう。走行中も道路情報板やラジオ、カーナビなどで、渋滞情報を積極的に活用し、刻々と変わる道路状況に対して柔軟に対応しましょう。

3. 早めの休憩と給油を忘れずに

渋滞に巻き込まれると車が思うように進まないため、トイレ等の問題が出てきます。また、ガス欠で止まってしまった場合は、渋滞は一層ひどくなり、周りにも迷惑をかけることとなります。渋滞が発生しているときや予想されるときは、無理をせず早めの休憩と給油をしましょう。

4. 車間距離をとる

渋滞では、脇見や漫然運転での追突事故の危険が高くなります。こうした事故を防ぐには、前車が急ブレーキをかけても対応できるよう十分な車間距離をとることです。また、2~3台前の車の動きもチェックしておきましょう。

5. 渋滞を抜けたときこそ慎重に

渋滞を抜けたときには、これまでの遅れを取り戻そうと、必要以上にスピードを出して運転しがちになります。スピードを出すことで、事故の危険は大きくなるだけでなく、事故の被害も大きくなります。渋滞を抜けたときこそ、慎重な運転を心がけましょう。



(犬塚芳彰)